

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	趣旨普及事業	所管	保健福祉部 介護保険課
			TEL 2998-9420

事業の目的 (何の為に 行うか)	介護保険の趣旨、導入の背景、仕組み及び利用方法を利用者や家族、市民に周知、普及、啓発する。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	1号(65歳以上)被保険者	対象とした数	61,806	人
		実際に 利用した数	11,030	人

活動の内容	(何を したか)	<p>平易で解りやすいパンフレットを作成し、機会を捉えて、配布・送付する。</p> <p>①新たに65歳に達し、1号被保険者になった方については、介護保険被保険者証にパンフレットを同封して送付する。</p> <p>②転入者については、介護保険被保険者証にパンフレットを同封して送付する。</p> <p>③要介護認定新規申請者については、申請時に窓口で、あるいは当課認定調査員による訪問調査時にパンフレットを渡す。</p> <p>出前講座において、介護保険制度を市民に周知する。</p>							
活動実績	項目名	パンフレット配布数	11030	項目名	出前講座開催回数	7	項目名	出前講座参加者数	301
		単位	部		単位	回		単位	人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,268	2,116	3,525	10.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	出前講座参加者理解度 (H20年度より分析開始)	各出前講座において参加者に理解度を確 認し年間毎に集計	単位 %	単位 %	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]			
		終了 ⇒ 事業完了		終了 休止	
	予算	* 現状どおり 増額		減額 終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了				
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了			
	予算	現状どおり 増額		減額 終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040700	TEL	2998-9420
事業コード	趣旨普及事業	担当	保健福祉部 介護保険課			
040709		グループ	管理担当			
開始年度		平成 11 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			所沢市介護保険条例、介護保険法			
	関連・類似事業							
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	5節 社会保障	中柱	4 介護保険制度の充実	小柱
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 3 位		実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード					
事業開始の背景	介護保険制度が導入されたことにより、従前の家族による介護から社会全体で支える介護へ、措置制度から社会保険制度へと新しいシステムへの転換が行われた。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)						
	介護保険の趣旨、導入の背景、仕組み及び利用方法を利用者や家族、市民に周知、普及、啓発する。						
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方			
	1号(65歳以上)被保険者			パンフレットを配布した人数			
対象数	単位	平成 18 年度	58,436	人	平成 18 年度	48,576	人
		平成 19 年度	61,806	人	平成 19 年度	11,030	人
事業の具体的な内容及び実施方法							
平易で解りやすいパンフレットを作成し、機会を捉えて、配布・送付する。							
①新たに65歳に達し、1号被保険者になった方については、介護保険被保険者証にパンフレットを同封して送付する。							
②転入者については、介護保険被保険者証にパンフレットを同封して送付する。							
③要介護認定新規申請者については、申請時に窓口で、あるいは当課認定調査員による訪問調査時にパンフレットを渡す。							
出前講座において、介護保険制度を市民に周知する。							

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
介護給付の適正化を目指し、介護サービスの正しい利用法について新たなパンフレットを作成した。						

⑤経費	《会計種別》	介護保険特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,268	2,268	4,519	
	決 算 (見込み含む)		2,236	2,116		
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )				
	正規職員人件費		0.20 人	1,840	0.15 人	1,409
	公債費					
	事業費合計		4,076	3,525		
	財源内訳		1,840	1,409		
	一般会計負担(正規職員人件費)					
	介護保険料・介護基金繰入金					
国・県支出金、支基金交付金						
一般会計繰入金		2,236	2,116	4,519		
その他						
市民一人当たり(単位:円)		12.1	10.4			
利用数一単位あたり(単位:円)		83.9	319.6			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	パンフレット配布数	要介護認定申請者、転入者等窓口配布及び説明会等における配布実績	部	48576	11030	11500
		出前講座開催回数	生涯学習センターや他課の依頼により実施した回数	回	13	7	10
		出前講座参加者数	出前講座に参加した人数	人	330	301	430
成果分析	出前講座参加者理解度(H20年度より分析開始)	各出前講座において参加者に理解度を確認し年間毎に集計	%	目標値			70
			%	実績			
			%	達成率			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	市民へのさらなる周知を図るために、パンフレット掲載内容の見直しや出前講座等を実施していく必要がある。			
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	パンフレット作成時には、文字を大きめにする、イラストを活用するなど内容の充実を図る。	高齢者にもわかりやすいものにする。	次回作成時	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	介護保険制度の市民への周知については説明会、インターネットのホームページ及びパンフレットなどの方法があるが、高齢者を主な対象とすることからパンフレット等の紙媒体の活用がもっとも有効な手段である。			
評価日	平成20年5月1日	記入者職氏名	介護保険課長 石川幸一	

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業	
	評価理由	評価日					<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業	

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	施策の体系			施策の方向	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					